



一条中学校

令和7年1月号

学校給食週間 ～ 学校給食の歴史を知ろう ～

1月24日から30日までは「全国学校給食週間」です。

日本の給食のルーツは明治時代にまでさかのぼります。そして戦後、新しいスタートを切って現在に至ります。およそ130年にもわたるあゆみには、時代を超えて子どもたちの健康と幸せを願ってきた多くの人々の思いがあります。給食の歴史を振り返ってみましょう。

学校給食歴史年表

社会のできごと
おもな給食のできごと
その他給食のできごと

がっこうきゅうしょく 学校給食のあけぼの

一八六八 (明治元)	一八七二 (明治5)	一八八九 (明治22)	一八九四 (明治27)	一九〇四 (明治37)	一九〇六 (明治39)	一九一四 (大正3)	一九二二 (大正11)	一九二三 (大正12)	一九三一 (昭和6)	一九三二 (昭和7)	一九三七 (昭和12)	一九四〇 (昭和15)	一九四一 (昭和16)	一九四四 (昭和19)	一九四五 (昭和20)
明治維新	学制が公布される	山形県鶴岡町(現・市)私立忠愛小学校で日本で最初の学校給食	日清戦争(一八九五)	日露戦争(一〇五)	イギリス学校給食法	日本栄養学の父・佐伯矩博士による学校給食(東京)	文部省による初の学校給食実施調査	関東大震災が起こる	満州事変が起こる	貧困児童救済のため学校給食に国の補助	日中戦争(一四五)	文部省「学校給食奨励規定」	太平洋戦争(一四五)	6大都市で特別配給物資による学校給食	ポツダム宣言を受諾、終戦



学校給食発祥の地の記念碑
(山形県鶴岡市)



日本最初の給食
(おにきり、塩づけ、漬物)



1923(大正12)年頃の給食
(五色ご飯、栄養みそ汁)



1942(昭和17)年頃の給食
(すいとんのみそ汁)



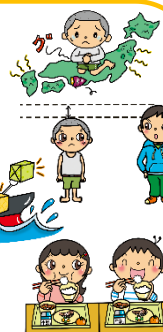
学校給食の意義や役割についての理解と関心を深め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に行われています。

昭和20(1945)年、戦争が終わったばかりの日本では食糧が不足し、栄養不足の子どもたちがたくさんいました。給食も戦争で中断されたままでした。

その頃の小学6年生の体は、今の小学4年生くらいの大きさだったといえます。

この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送られてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食が再び始まりました。

12月24日は学校が冬休みなので、1か月遅らせた1月24日から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、その意義と役割を再確認する1週間です。



がっこうきゅうしょく さいしゅつぱつ
学校給食の再出発

- 一九六三(昭和38) バナナの輸入自由化
農業基本法制定(三ちゃん農業)
- 一九六一(昭和36) ソ連のガガーリンが人工衛星で地球一周
皇太子(明仁上皇)ご成婚
- 一九五九(昭和34) 東京タワー完成
学校給食が「学校行事等」に
インスタントラーメン発売
日本が国連に加盟
経済白書「もはや戦後ではない」
水俣病の公式確認
- 一九五六(昭和31) 各都道府県に学校給食会の
設立が進む(五九)
学校給食法の制定
ビキニ水爆実験
- 一九五四(昭和29) NHKテレビ放送開始
- 一九五三(昭和28) 外国の援助(ララ物資)が終了
サンフランシスコ平和条約が結ばれる
- 一九五二(昭和27) 米国寄贈小麦粉を使い、8大都市の小学校で戦後
初の完全給食(主食・おかず・ミルク)実施
- 一九五〇(昭和25) 湯川秀樹博士に
ノーベル物理学賞
ユニセフ給食開始
教育基本法の制定
GHQ農地改革
- 一九四七(昭和22) 外国の援助(ララ物資)により学校給食再開
文部・厚生・農林省「学校給食実施の普及奨励」
日本国憲法公布
- 一九四六(昭和21)



ユニセフ給食の記念式典



1947(昭和22)年頃の給食
(トマトシチュー、ミルク(脱脂粉乳))



1952(昭和27)年頃の給食
(コッペンパン、ミルク、くじらの電田揚げ、
せんきゃべツ、ジャム)



ぎゅうにゅう かんぜんきゅうしょく たっせい
牛乳・パンによる完全給食の達成

- 一九七五(昭和50) 「およげたいやきくん」大ヒット
コンビニで24時間営業開始
- 一九七四(昭和49) 学校栄養職員が教員と同じ
県費負担職員になる
- 一九七三(昭和48) 第一次オイルショック
- 一九七二(昭和47) 沖縄復帰・札幌冬季オリンピック開催
NHKカラー放送に全面移行
カップめん発売
- 一九七一(昭和46) 「米余り」で、減反政策を本格的に開始
ファーストフード・ファミレス開業
- 一九七〇(昭和45) 大阪万博開催
- 一九六九(昭和44) アポロ11号月面着陸
東名高速道路全線開通
- 一九六八(昭和43) 学校給食の「学級指導」への位置づけ
給食用小麦粉の漂白廃止
レトルトカレー発売
- 一九六六(昭和41) 米自給率が日本史上初めて100%に
冷蔵庫の普及率が50%を超える
家庭用電子レンジ発売
- 一九六五(昭和40) 東京オリンピック
東海道新幹線開業
- 一九六四(昭和39) 海外旅行自由化
学校給食に牛乳(生乳)の本格供給



1964(昭和39)年頃の給食
(揚げパン、ミルク、おでん)



1974(昭和49)年頃の給食(ぶどうパン、牛乳、ハンバーグ、
せんきゃべツ、粉ふきいも、ジュース)



寒い冬も
牛乳や乳製品をとろう!

牛乳・乳製品は、骨や歯のおもな構成成分である『カルシウム』を多く含んでいて、成長期のみなさんにとって、積極的に摂りたい食品です。

しかし、冬は気温が低いいため消費量が少なくなる傾向があります。

牛乳のもとになる生乳は、子牛を産んだ母牛からしぼるので、急に生産量を増やしたり、減らしたりできません。

冬休みに入ると、給食での牛乳消費がなくなるため、さらに消費量が少なくなるそうです。

冬休み中は給食で牛乳を飲めません。ぜひ、家庭で、牛乳を温めて飲んだり、ホワートシチューなどの料理に使ったり、チーズやヨーグルトを食べたりして、積極的に牛乳・乳製品を摂るようにしましょう。

べいはんきゅうしょく 米飯給食スタート

- 一九七六（昭和51）
米飯給食が始まる
- 一九八〇（昭和55）
スポーツドリンク発売
- 一九八三（昭和58）
家庭用ミネラルウォーター発売
- 一九八四（昭和59）
文部省「新学校給食指導の手引」
- 一九八五（昭和60）
農水省「日本型食生活」を提唱
- 一九八八（昭和63）
瀬戸大橋開通
青函トンネル開通・東京ドーム完成
プラザ合意による急激な円高
- 一九八九（平成元）
消費税導入・天安門事件
- 一九九〇（平成2）
ベルリンの壁崩壊
- 一九九一（平成3）
湾岸戦争・ソ連崩壊
- 一九九三（平成5）
平成の大凶作、米の緊急輸入
- 一九九四（平成6）
ウルグアイラウンド妥結で米の自給体制終結
- 一九九五（平成7）
戦前から続いた食糧管理制度が終わる
阪神淡路大震災・地下鉄サリン事件
- 特定機能食品（トクホ）発売・Jリーグ開幕
- 学校給食100周年記念大会



1989(平成元)年頃の給食
(バイキング給食)



腸管出血性大腸菌 O157 ノロウイルスなど 食中毒に気をつけよう！

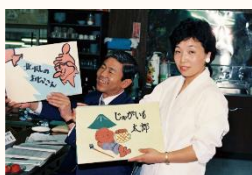
腸管出血性大腸菌O157は、牛など家畜の糞便中に時々見つかります。家畜に症状は出ず、見た目でもわかりません。生肉や加熱が不十分な肉などを食べ、人に感染するとまったく症状がないものから、腹痛、下痢、血便、死にいたるものまではばがあります。よく加熱をし、生肉に触れた手や器具はよく洗い、消毒することで防げます。

また、ノロウイルスは二枚貝から感染することの多い食中毒です。感染すると、腹痛や吐き気、嘔吐、下痢、発熱などの症状を起こします。二枚貝を食べなくても、ノロウイルスが付着した手で口を触ったりしても感染します。外出後やトイレの後、食事の前には石鹸を使ってしっかり手を洗いましょう。



しょく あんしん あんぜん もと 食の安心・安全を求めて

- 一九九六（平成8）
O157食中毒事件
- 一九九七（平成9）
学校給食衛生管理基準が制定される
(衛生管理の徹底)
- 一九九八（平成10）
長野冬季オリンピック
- 一九九九（平成11）
食料・農業・農村基本法制定
- 二〇〇〇（平成12）
厚生・農水・文部省「食生活指針」決定
- 二〇〇一（平成13）
日本ではBSE感染牛が発見される
乳製品集団食中毒事件
- 二〇〇二（平成14）
牛肉産地偽装事件・サッカーW杯日韓大会
9・11同時多発テロ事件



しょくいく じ だい がっこうきゅうしょく 食育時代の学校給食

- 二〇二五（令和7）
大阪・関西万博
- 二〇二四（令和6）
能登半島地震・奥能登豪雨
- 二〇二二（令和3）
東京オリンピック・パラリンピック開催
- 二〇二〇（令和2）
新型コロナウイルスのパンデミックで、小中高校等に全国「斉休業要請」
- 二〇一六（平成28）
熊本地震「食生活指針」の改訂
- 二〇一五（平成27）
「学校給食における食物アレルギー対応指針」文科省
- 二〇一三（平成25）
「和食」のユネスコ無形文化遺産登録
- 二〇一〇（平成22）
学校給食で食物アレルギー死亡事故
- 二〇一〇（平成22）
東京スカイツリー完成
- 二〇一〇（平成22）
サッカー女子W杯ドイツ大会で日本優勝
- 二〇一〇（平成22）
東日本大震災・福島第一原発事故
- 二〇一〇（平成22）
口蹄疫発生、家畜の大量殺処分
- 二〇〇八（平成20）
リーマン・ショックで世界同時不況
- 二〇〇八（平成20）
特定健診制度開始（メタボ）が話題に
- 二〇〇八（平成20）
学習指導要領に「食育の推進」・学校給食法改正
- 二〇〇六（平成18）
教育基本法改正
- 二〇〇六（平成18）
「全国学校給食甲子園」大会スタート
- 二〇〇六（平成18）
第二回野球WBC大会で日本優勝
- 二〇〇五（平成17）
厚労省・農水省「食事バランスガイド」
- 二〇〇五（平成17）
食育基本法制定・栄養教諭制度ができる
- 二〇〇五（平成17）
愛・地球博開催（愛知県）



2009(平成21)年 全国学校給食甲子園優勝献立(ご飯、牛乳、タマタモトマピーチーズ焼き、ひじき佃煮、ゴマネーズあえ、打ち豆みそ汁、かき)



1/8.16.20 家庭科で2年生が考えた給食献立



今月も引き続き生徒の献立を給食用にアレンジして実際の給食でいただきます。「サバカレー(材料手配の都合によりツナカレー)」や「れんこんのごまあえ」、ブロッコリーも入った「シチュー」など、はじめて給食で出る料理ばかりです。お楽しみに。

1/21 宮っこランチ【冬】～黄ぶなにちなんで健康になろう献立～

宇都宮には、「昔、天然痘が流行った時に、黄色いぶなが市中心部の田川で釣れ、病人がその身を食べたところ治癒した。」という伝説があります。そのため、病気除けとして黄ぶなの形をした物を毎年新年に神に供えるようになったそうです。



宮っこランチ【冬】は黄ぶなにちなんだ献立で、郷土料理の「かんぴょうの卵とじ汁」に黄ぶなの郷土玩具の赤・黄・緑の具材、ゼリーは黄ぶなにちなんで黄色い色をした宇都宮産のゆずのゼリーです。今年1年健康に過ごしていきましょう。

1/30 宇都宮市産 トマト 給食



トマトは、世界中に10,000種類以上あります。色は、赤・ピンク・紫・茶・黄・オレンジ・緑、しましま模様もあります。一般的な大玉トマトは、200gくらいですが、5mmくらいのマイクロミニトマトから、25cm 5kg以上あるトマトもあるそうです。形も細長いものやかぼちゃのような形のものもあります。

今月は、大玉トマトを「トマトシチュー」にします。細長い水煮のトマトも使っています。

1/24-30 学校給食週間 前期給食委員会仕込みみそ使用料理

給食のみそを作っている「青源味噌」の協力で、7/8に前期給食委員が麴と塩を混ぜて、手で大豆をつぶすところからみそを仕込みました。



7月に仕込んで、約6か月経ち、熟成した味噌を使った料理を学校給食週間の給食に使います。料理も前期給食委員がこのみそを使って食べたい料理を考えました。

24日:鶏肉のみそからあげ, 27日:みそちゃんぽん, 28日:豚肉となすのみそいため
29日:メンチカツ(みそだれ), 30日のトマトシチューにも隠し味で入れます。